

日野川ブロック 河川整備計画の変更（案）

平成28年12月13日

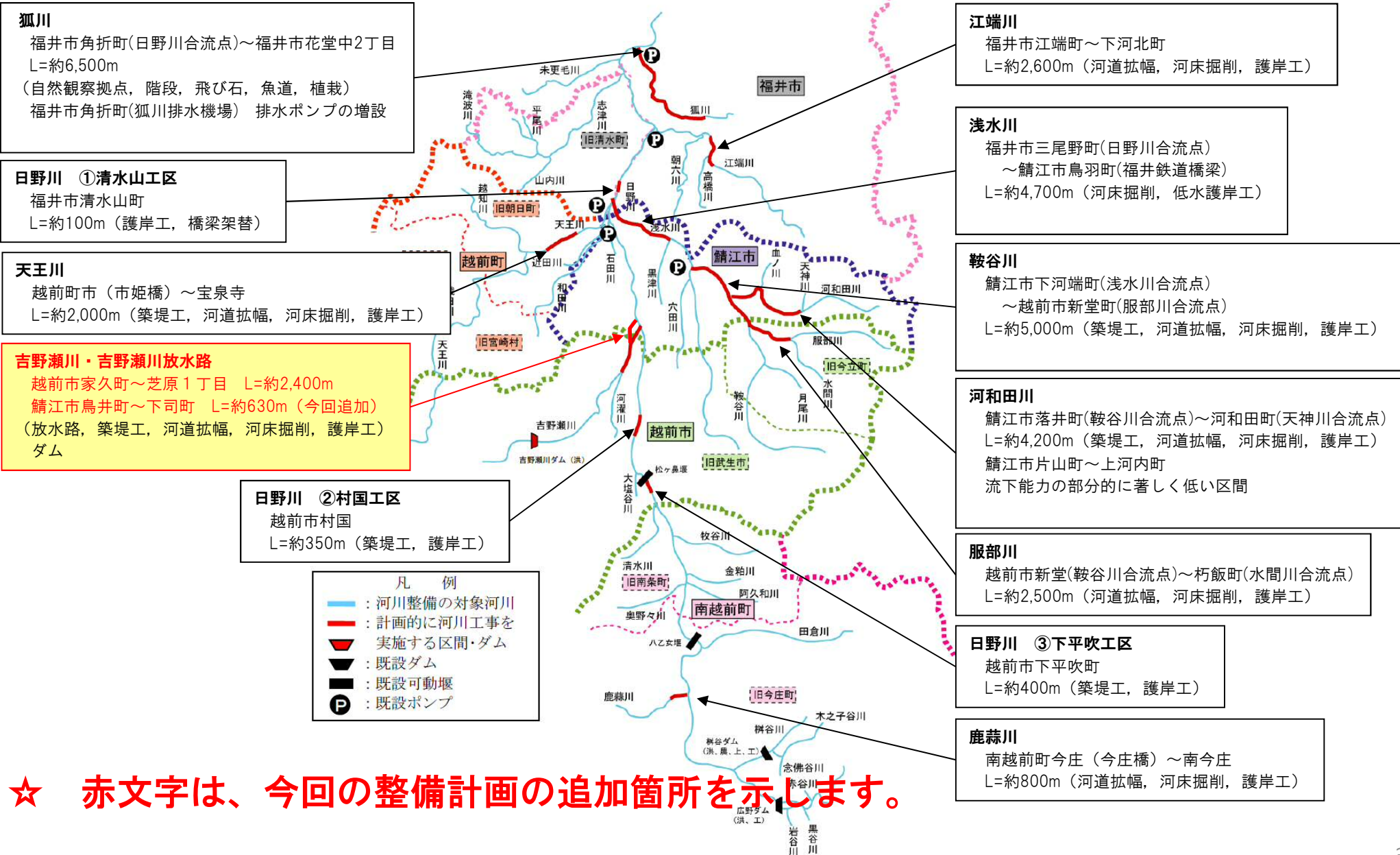
福 井 県

九頭竜川水系 日野川ブロックの位置

- ①国管理区間
- ②下流部ブロック
- ③中流部ブロック
- ④上流部ブロック
- ⑤日野川ブロック
- ⑥足羽川ブロック



計画的に河川工事を実施する区間



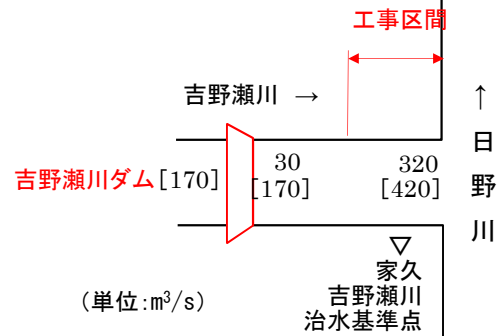
★ 赤字は、今回の整備計画の追加箇所を示します。

吉野瀬川 河川整備計画の概要（現行）

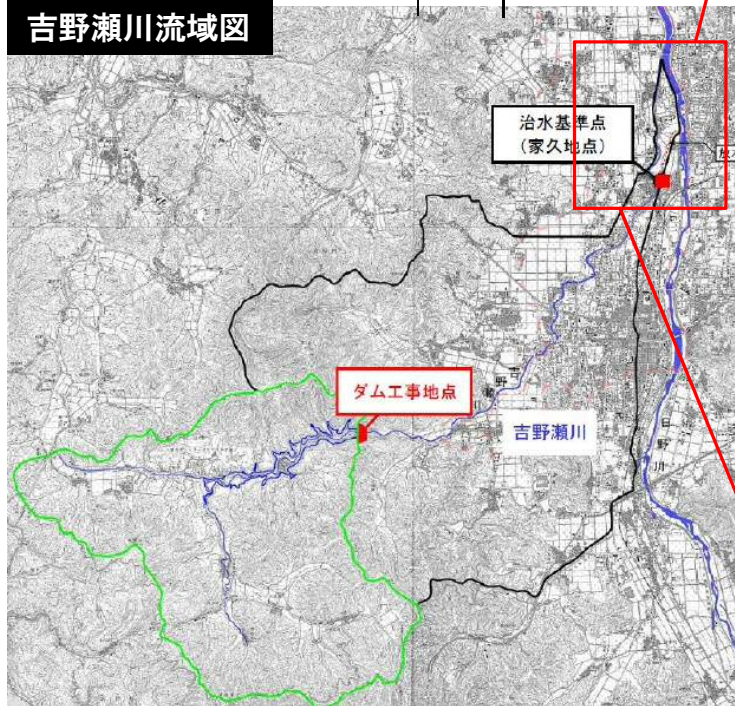
（河川工事の目的）

- 概ね30年に1回程度の確率で発生する降雨による洪水(計画流量 $Q=320\text{m}^3/\text{s}$)を安全に流下させ、吉野瀬川下流部で河川改修及び放水路を新設する。また、上流部にダムを建設します。

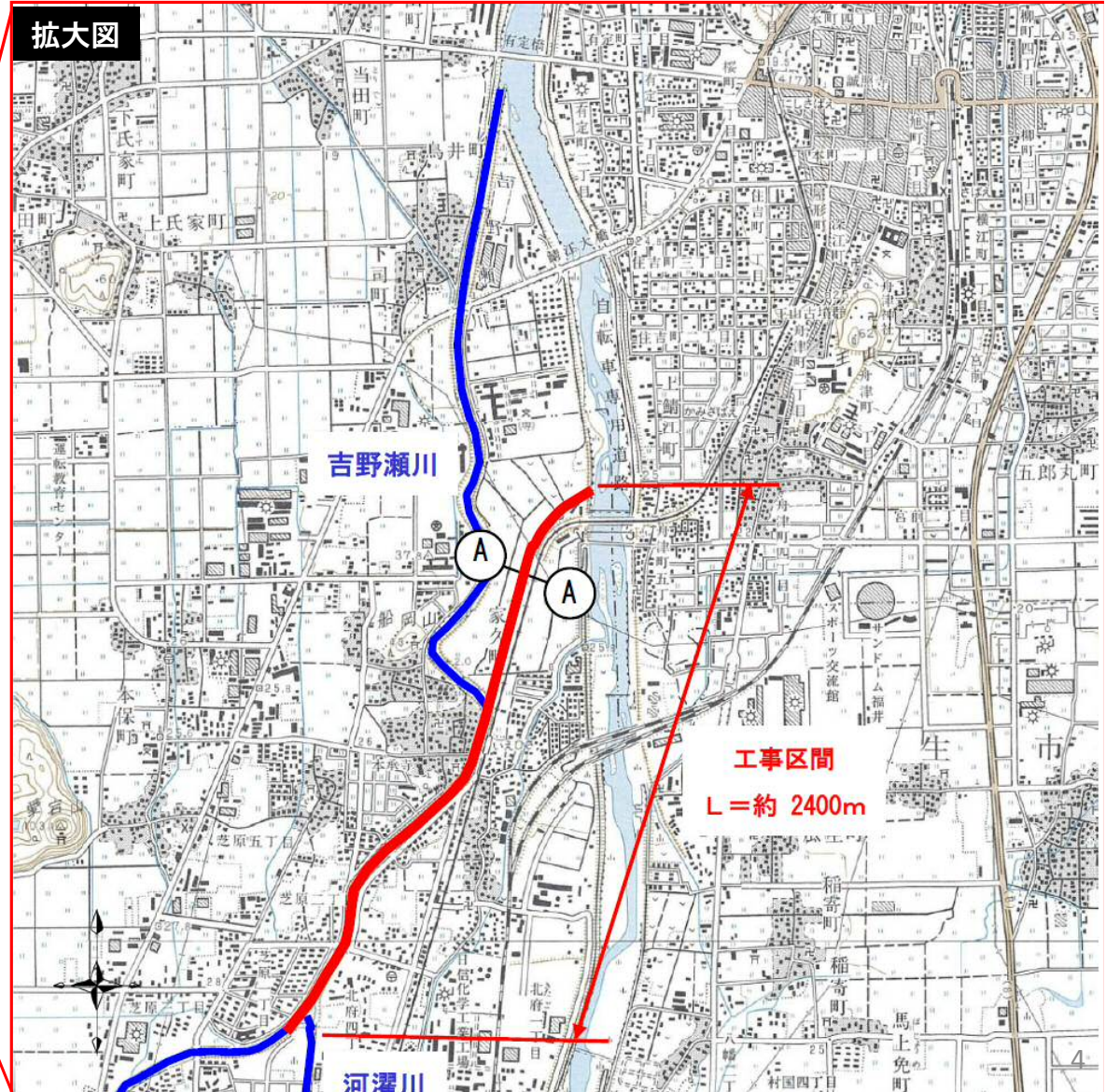
計画流量配分図



吉野瀬川流域図



拡大図



吉野瀬川放水路工事の現況と進捗状況



①



➤ 吉野瀬川と吉野瀬川放水路との合流点

②



➤ 日野川と吉野瀬川放水路との合流点

吉野瀬川増水時の状況



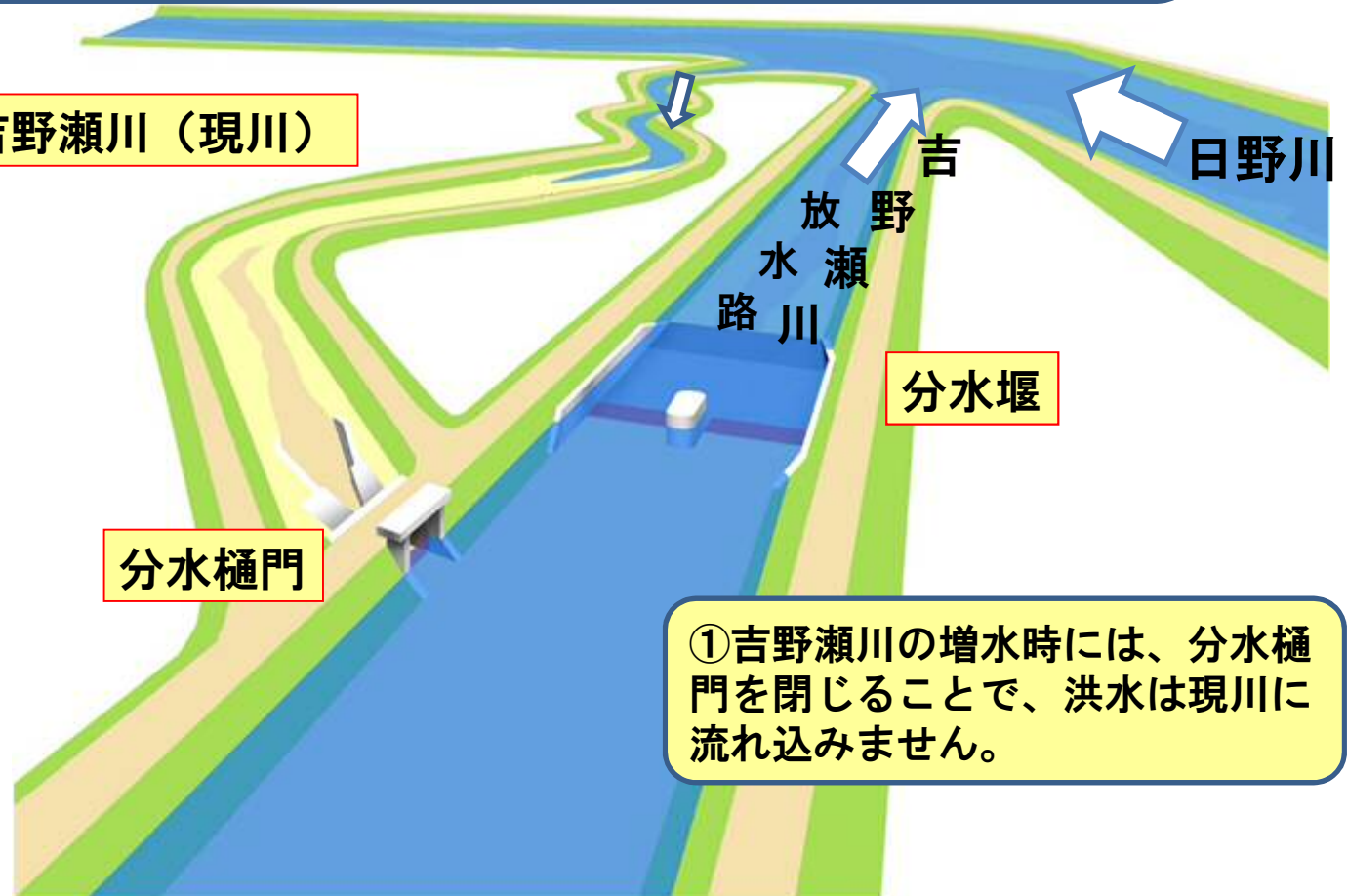
☆ 河川整備計画に基づき、現在、放水路工事を進めています。
吉野瀬川の水位が上昇した際に、緊急的に放水路に洪水を流しました。 5

日野川の水位上昇時における吉野瀬川（現川）への影響



②下流の日野川が増水した時には、日野川の水位の上昇に伴い、吉野瀬川（現川）の水位も上昇します。

水位が上昇した場合、現況の堤防では高さが足りないことから、水位上昇時の対策が必要となります。



①吉野瀬川が増水時には、分水樋門を閉じることで、洪水は現川に流れ込みません。

☆ 日野川が水位上昇した場合に備えた吉野瀬川（現川）の対策が必要となります。

日野川の水位上昇時における吉野瀬川（現川）対策の検討

☆ 対策として2案を検討しました。

樋門(案)



日野川の合流点付近に、樋門を設置し、日野川が増水した時に、樋門を閉じます。

堤防嵩上げ(案)



吉野瀬川（現川）の堤防高が不足する区間について、堤防を嵩上げします。

日野川の水位上昇時における吉野瀬川（現川）対策の検討

【樋門（案）】

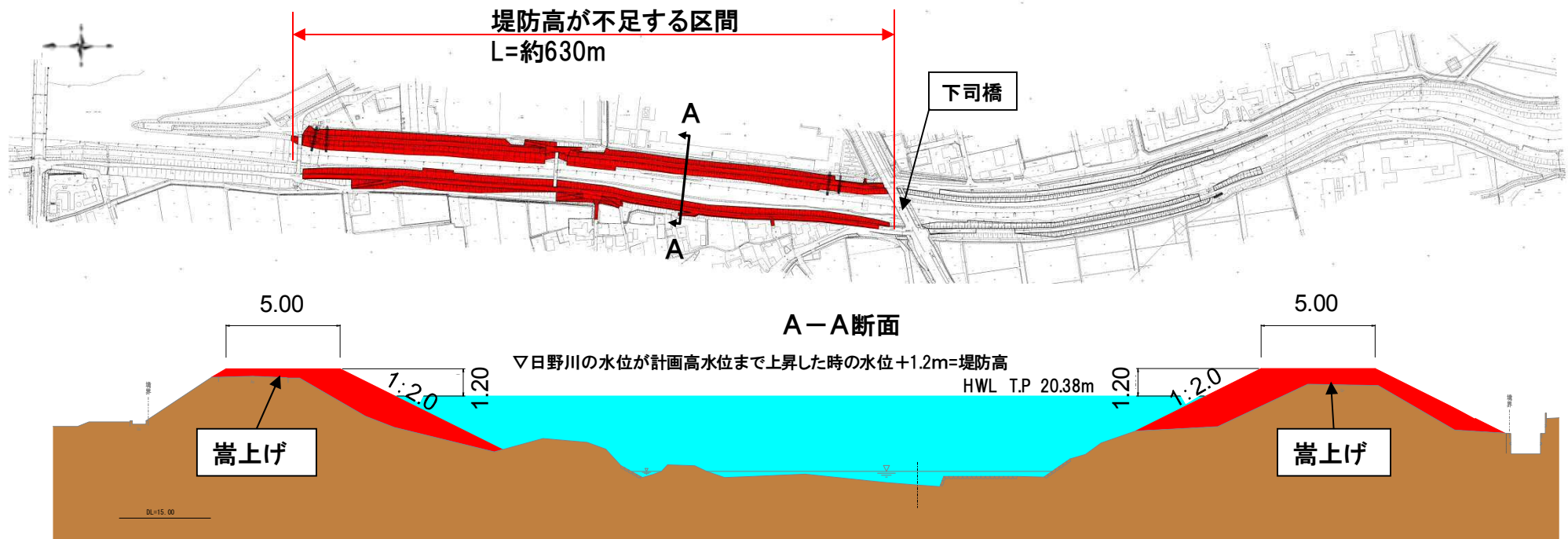
- 日野川と吉野瀬川の合流点に樋門を設置します。



日野川の水位上昇時における吉野瀬川（現川）対策の検討

【堤防嵩上げ（案）】

- 堤防高が不足する区間について、吉野瀬川（現川）の堤防を日野川と同じ規格（堤防高、天端幅）にします。



- 堤防高が不足する区間（日野川合流点～下司橋まで）について、堤防を嵩上げする。

日野川の水位上昇時における吉野瀬川（現川）対策の比較

	樋門(案)	堤防嵩上げ(案)
工事概要	樋門 : 1基 築堤 : 1式	堤防嵩上げ : 約630m
補償工事	排水機場 : 1式 取水堰 : 1基 市道橋 : 1橋 樋管 : 2基	樋管 : 4基
概算工事費	約3億2千万円	約2億4千万円
河川施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 鋼構造物やコンクリート構造物の劣化に注意を要する。 樋門の動作点検が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 土構造の堤防は劣化が起きにくい。 堤防点検が必要である。
河川環境への影響	<ul style="list-style-type: none"> 工事中は、濁水対策が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 広範囲で堤防法面の改変が生じるため、在来植物を回復するための工夫が必要である。
生活環境への影響	<ul style="list-style-type: none"> 工事中は、左岸堤防が通行止めとなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事中は、左岸堤防が通行止めとなる。 堤防が高くなるため、現在に比べて昇降の負担が大きい。
総合評価	△	○

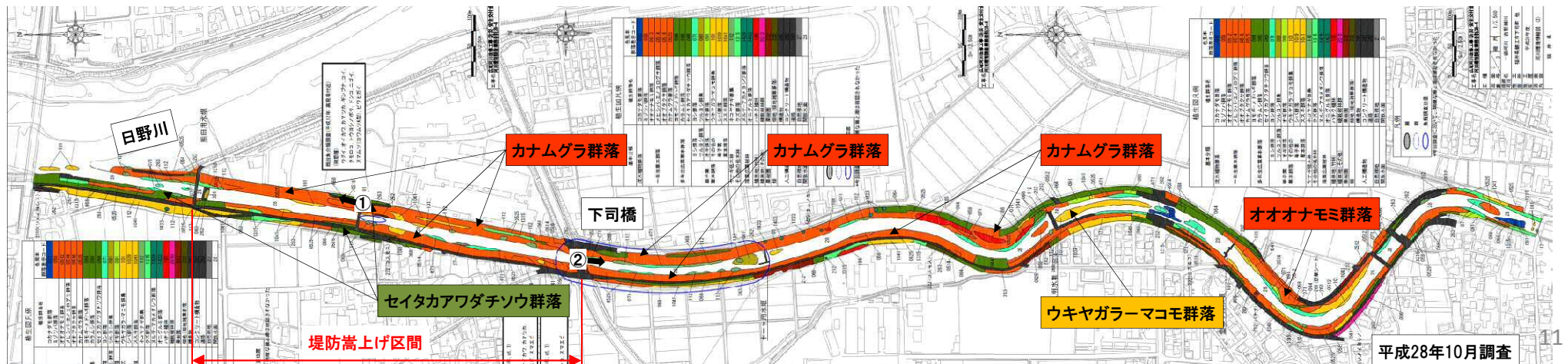
☆対策(案)を比較検討した結果、堤防嵩上げ(案)が優位となります。

整備にあたり環境に配慮する事項

- 主にカナムグラ群落が発達しています。希少種は確認されませんでした。
- 在来植生の種が混入している現況堤防の表土を、整備後の堤防の表土として覆土利用することにより、在来植生の早期活着・復元を図ります。



植生図凡例			
基本分類	植生群落名	色見本 群落表示コード	
沈水植物群落	コカナダモ群落	012	
	ミゾソバ群落	058	
一年生草本群落	オオオナモミ群落	0512	
	メヒシバ・エノコログサ群落	0514	
	オオブタクサ群落	0516	
	カナムグラ群落	0525	
多年生広葉草本群落	ヨモギ・メドハギ群落	064	
	カラムシ群落	066	
	セイトカアワダチソウ群落	068	
単子葉 草本群落	ヨシ群落	ヨシ群落	071
	ツルヨシ群落	ツルヨシ群落	081
	オギ群落	オギ群落	091
	その他の 単子葉 草本群落	ウキヤガラ・マコモ群落	101
		シバ群落	1039
		ススキ群落	1041
	ヤナギ低木林	ネコヤナギ群落	112
	その他の低木林	クズ群落	1315
	落葉広葉樹林	ヌルテアカメガシワ群落	1429
		オニグルミ群落	1433
植林地(竹林)	ハチク植林	136	
植林地(その他)	植栽樹林群	2010	
果樹園	果樹園	212	
畑	畑地(畑地雑草群落)	222	
人工構造物	構造物	261	
	コンクリート構造物	262	
	道路	263	
自然裸地	自然裸地	27	
開放水面	開放水面	28	



日野川ブロック河川整備計画の変更（案）

平成21年8月

(8) 吉野瀬川

河川工事の目的：概ね30年に1回程度の確率で発生する降雨による洪水を安全に流下させ、沿川の家屋や公共施設等の浸水を防止するため、吉野瀬川下流部に放水路を新設するとともに、上流部にダムを建設します。
概ね10年に1回程度の確率で発生する渇水に対して、流水の正常な機能を維持するために必要な流量（ダム地点で最大0.28m³/s、最下流地点で最大0.22m³/s）を確保します。

河川工事の場所：ダム（左岸）越前市広瀬町186字岩谷地先
（右岸）越前市広瀬町183字木野境地先
河川改修（放水路含む）越前市家久町地先～芝原1丁目地先の2,400m区間。

河川工事の種類：ダム
河川改修（放水路、築堤工、河道拡幅、河床掘削、護岸工）

整備にあたり配慮する事項

：ダムの建設にあたっては、魚類や植物さらに周辺の森林に生息する様々な動物の生息に配慮して、水質、騒音、振動など周辺環境への影響が極力少なくなるように配慮します。
また、ダム開発周辺地で発見されたアベサンショウウオについては、専門家の意見を参考にし、関係行政機関と調整のうえ、保護対策を講じます。
放水路の建設にあたっては、道路事業、街路事業と連携をとり、改修工事を進めます。

ダムの概要：機能 洪水調節、流水の正常な機能の維持
名称 吉野瀬川ダム
形式 重力式コンクリートダム
堤高 58.0m
堤頂長 184.0m
総貯水量 7,800,000m³
湛水面積 51ha
計画規模 1/70（暫定運用 1/30）

※堤高などの諸元、形状等は必要に応じて変更することがある。



平成28年12月

(7) 吉野瀬川・吉野瀬川放水路

河川工事の目的：概ね30年に1回程度の確率で発生する降雨による洪水を安全に流下させ、沿川の家屋や公共施設等の浸水を防止するため、吉野瀬川下流部に放水路を新設整備するとともに、上流部にダムを建設します。
また吉野瀬川について、日野川の背水対策を行います。
吉野瀬川においては、概ね10年に1回程度の確率で発生する渇水に対して、流水の正常な機能を維持するために必要な流量（ダム地点で最大0.28m³/s、最下流地点で最大0.22m³/s）を確保します。

河川工事の場所：ダム（左岸）越前市広瀬町186字岩谷地先
（右岸）越前市広瀬町183字木野境地先
河川改修（放水路含む）
越前市家久町地先～芝原1丁目地先の2,400m区間、鯖江市島井町地先（日野川合流点）～下司町地先（下司橋）の630m区間

河川工事の種類：ダム
河川改修（放水路、築堤工、河道拡幅、河床掘削、護岸工）

整備にあたり配慮する事項：

ダムの建設にあたっては、魚類や植物さらに周辺の森林に生息する様々な動物の生息に配慮して、水質、騒音、振動など周辺環境への影響が極力少なくなるように配慮します。
また、ダム開発周辺地で発見されたアベサンショウウオについては、専門家の意見を参考にし、関係行政機関と調整のうえ、保護対策を講じます。
放水路の建設にあたっては、道路事業、街路事業と連携をとり、改修工事を進めます。

ダムの概要：機能 洪水調節、流水の正常な機能の維持
名称 吉野瀬川ダム
形式 重力式コンクリートダム
堤高 58.0m
堤頂長 184.0m
総貯水量 7,800,000m³
湛水面積 51ha
計画規模 1/70（暫定運用 1/30）

※堤高などの諸元、形状等は必要に応じて変更することがある。

日野川ブロック河川整備計画の変更（案）

平成21年8月

平成28年12月

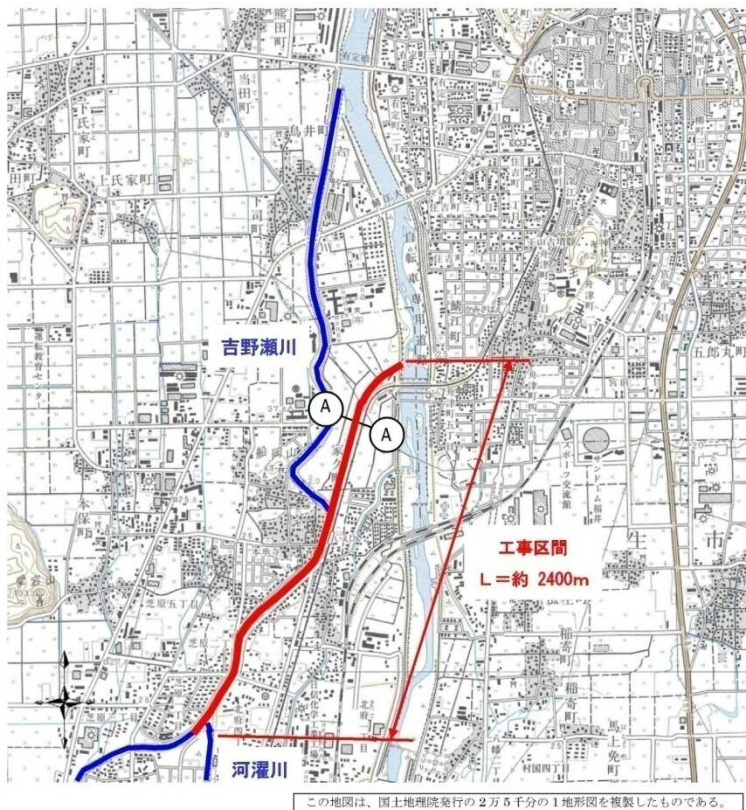


図 5.41 平面図

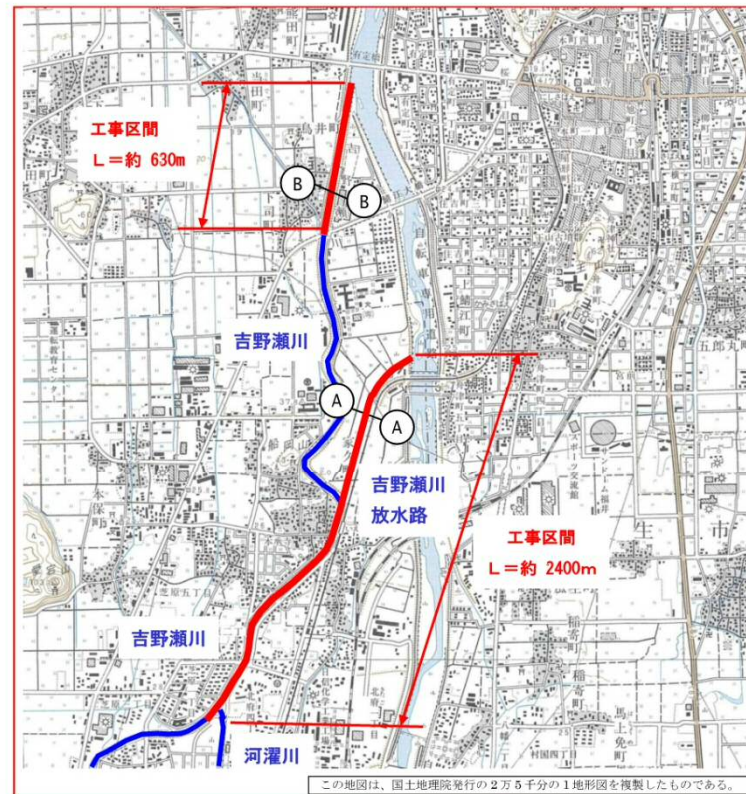


図 5.29 平面図

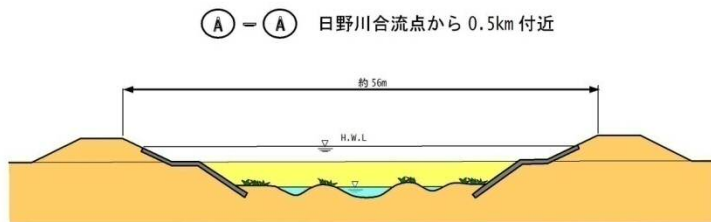


図 5.42 横断面（イメージ）

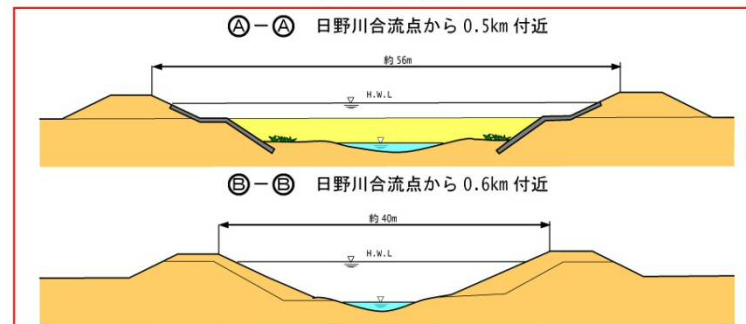
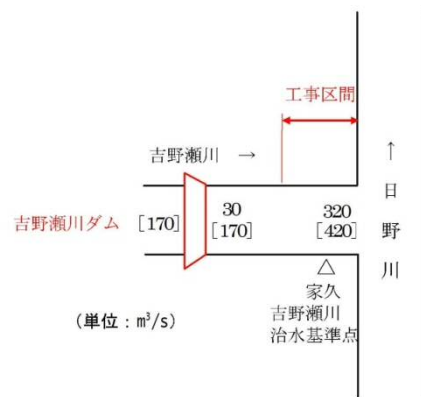


図 5.30 横断面（イメージ）

日野川ブロック河川整備計画の変更（案）

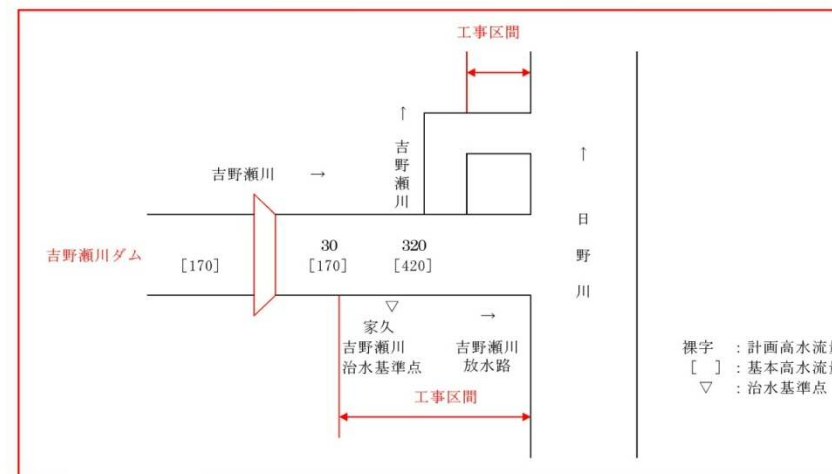
平成21年8月



裸字: 計画高水流量
[]: 基本高水流量
▽: 治水基準点

図 5.36 計画流量配分図

平成28年12月

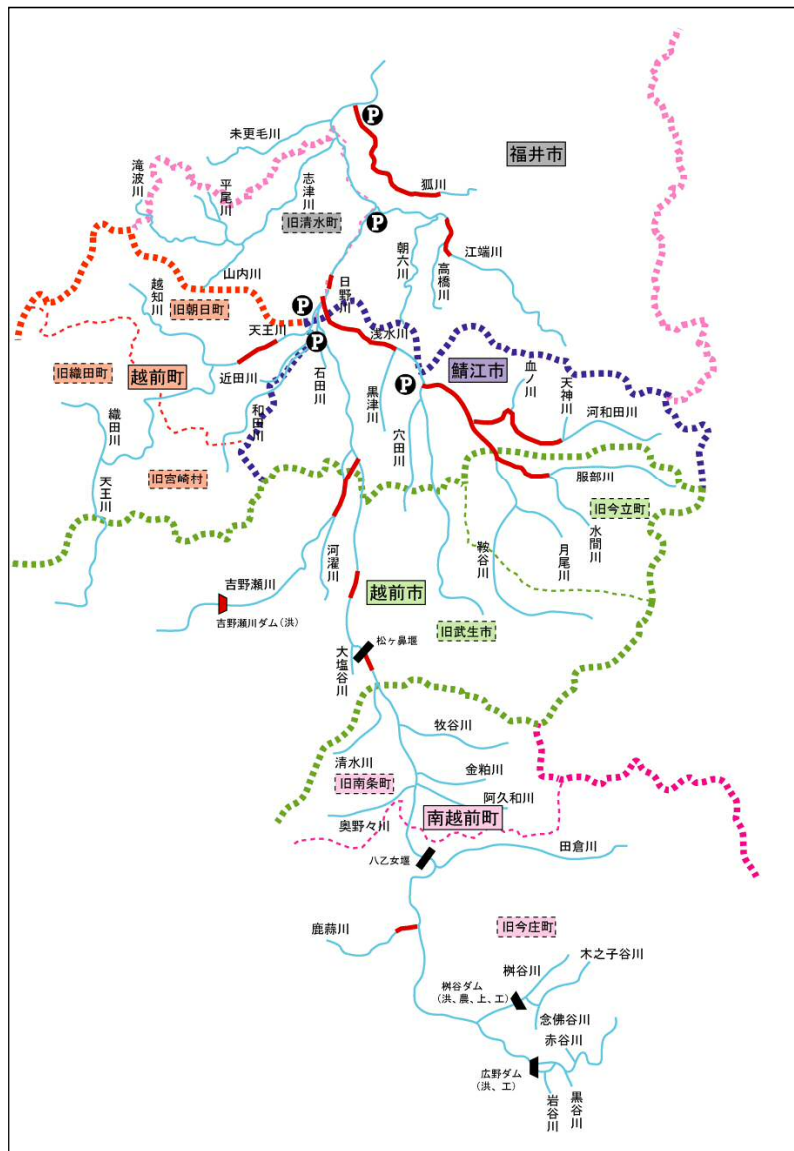


裸字: 計画高水流量
[]: 基本高水流量
▽: 治水基準点

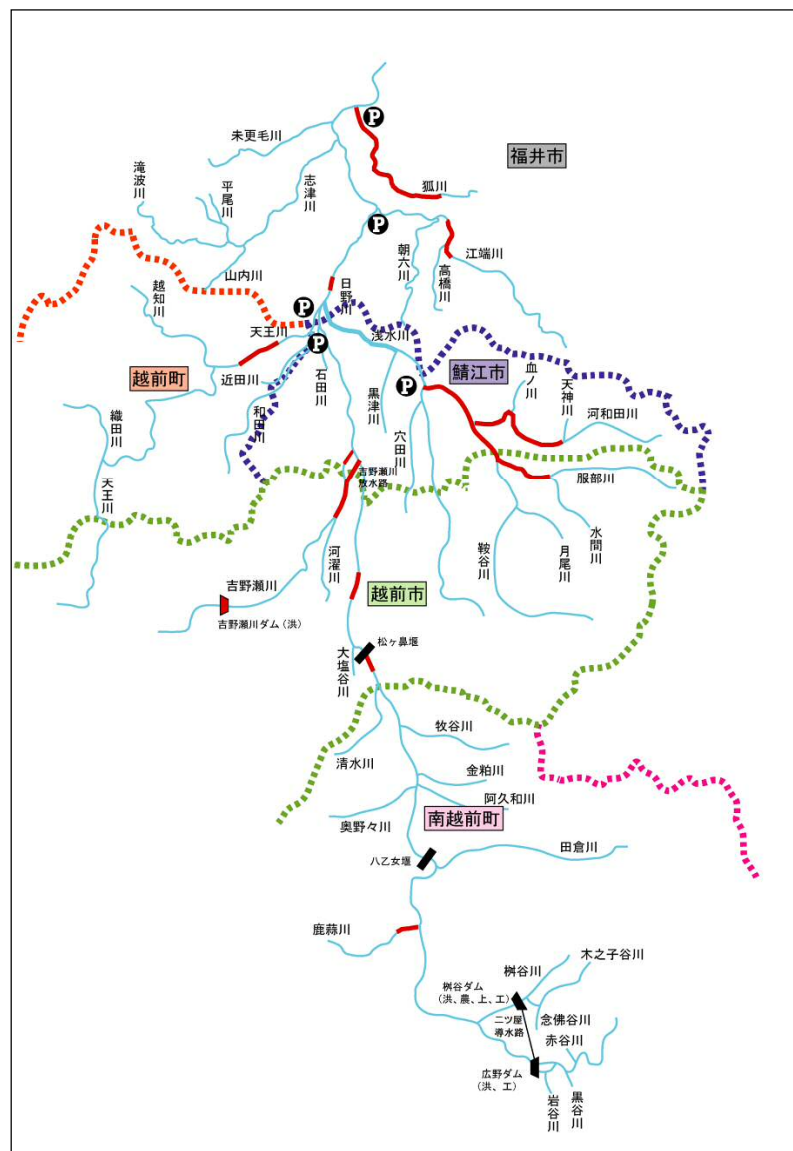
図 5.24 計画流量配分図

日野川ブロック河川整備計画の変更（案）

平成21年8月



平成28年12月



日野川ブロック 河川整備計画変更の概要

吉野瀬川(現川)対策の追加

- 放水路工事、河川整備計画に基づき、来年度の完成に向け着実に進捗。
- 増水時に3回放水し、現川の水位を低下させるなど、治水効果も発現。
- 一方、吉野瀬川（現川）堤防高が、日野川堤防高よりも低い区間あり。
- 日野川が増水、水位が上昇した場合、吉野瀬川（現川）の水位も上昇するため、この区間が安全とはいえない状況。
- 吉野瀬川（現川）についての対策が必要。
- この対策について関係者との協議が整ったため、河川整備計画に追加。